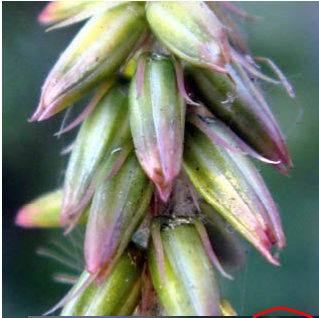


『ひっつき虫』は何故ひっ付くのか？

Part3

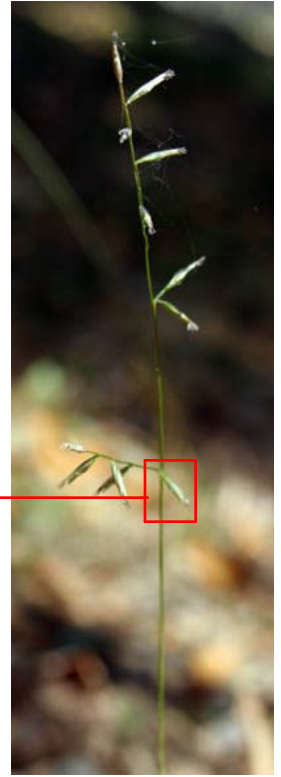
下で紹介する2種は比較的ひっつき度の弱い植物です



『イノコズチ』です。本州から九州に生育する多年草で、根元から生えるクリップのような棘で衣服にひっつくようです。



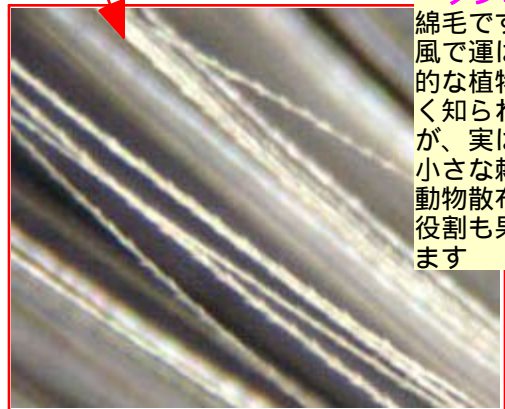
『ササクサ』です。関東以西～九州の林内や林縁などに生える多年草です。笹の葉に似た葉をしているのでこの名があります。先端には刺があり、この刺でひっつくわけです



おまけ



『タンポポ』の綿毛です。風で運ばれる典型的な植物としてよく知られていますが、実は綿毛には小さな棘があり、動物散布としての役割も果たしています



『ミズヒキ』です。インド原産のタデ科タデ属の1年草です。

本来は自動散布型種子ですが、花柱の先が、かぎ型に曲がってひっかかりやすく、動物散布型種子でもあるようです。弱いながらもひっつき虫として扱いました